

平成30年度 京都市立桃山南小学校学校経営方針

京都市教育委員会 学校教育の重点より

目指す子ども像 伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子ども

重視する視点 ◆子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を学校全体の教育活動の中で高める。
◆カリキュラム・マネジメントの視点のもと、PDCAを意識し、教育課程に基づき、組織的かつ計画的に日々の教育活動の質の向上を図り、子どもの姿や地域の状況に応じた創意あふれる取組を展開する。

桃山南小学校 学校教育目標

夢を描いて 未来を拓く子
～やさしく かしこく たくましく～

目指す学校像

～信頼～

- ・子どもの命と安全（体と心）を守りきる学校
- ・充実感や満足感にあふれる学校
- ・子どもの成長が見える学校
- ・地域に開かれた学校

目指す子どもの姿

～いきいき・にこにこ～

- 何事にも前向きに取り組む子
- 正しく判断し行動する子
- 自他を大切にし、思いやりの心をもって共に生きる子
- 元気いっぱい明るい子

目指す教職員像

～凡事徹底～

- ・一人一人の子どもを徹底的に大切にする教職員
- ・子どものよき手本となる教職員
- ・教育者としての自覚のもと、互いに高め合う教職員
- ・誰（子ども、保護者、地域、教職員）からも信頼される教職員

◎今年度の重点的取組

- ・自尊感情の育成（自己肯定感、自己有用感を高める活動の重視）
- ・正しい価値観に基づく規範意識の育成と行動化（公共の精神の浸透）
- ・学力の向上（授業改善⇒主体的・対話的な深い学びへの転換）
- ・地域との連携・協働（創立40周年記念行事、学校運営協議会の活用）

「生きる力」を育む具体的方策

確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和のとれた育成

◆確かな学力の育成

- ◇すべての教職員によるカリキュラム・マネジメントの視点をもった実践
- ◇家庭学習の充実→主体的な学びにつながる自学自習の習慣化

- ・社会とのつながり・接続を実感できる教科教育
- ・基礎的基本的な知識・技能の習得
- ・課題発見・解決型の探究活動を通した知識・技能の活用
- ・「主体的・対話的で深い学びの課程」の実現
- ・グローバル化時代に対応する実践的英語力の育成
- ・理数教育の充実
- ・LD等支援の必要な子どもの学力向上

◆豊かな心の育成

- ◇人権が尊重される風土作り
- ◇正しい価値観の定着→自他を大切にする態度の育成
- ◇礼儀・礼節の尊重

- ・道徳教育の充実
- ・伝統文化や芸術を通じ、豊かな感性・情操を育む教育の充実
- ・規範意識の育成
- ・多様性を理解する姿勢の涵養
- ・支えあい高め合う集団づくりの推進と絆づくり

◆健やかな体の育成

- ◇基本的生活習慣の定着→健康な心身の育成
- ◇遊び・運動の生活化

- ・運動やスポーツの実践と体力の向上
- ・保健教育の充実
- ・食に関する指導の推進
- ・飲酒・喫煙・薬物に関する指導
- ・安全教育の充実